

## 事業概要書

事業名	「まつどの介護」プロモーション事業
団体名	特定非営利活動法人SmileResource
事業担当課	介護保険課

事業概要
松戸市の介護制度における介護サービスを含めた社会資源のプロモーションビデオ(動画コンテンツ)を制作することで“介護の見える化”を図り、「分かりやすく利用しやすい松戸市の介護」の促進を図る事業を実施する。

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>超高齢化社会となった我が国では、毎年10万人近くも介護離職者が発生しています。</p> <p>これから迎える2025年問題。更に高齢者人口が増加し、雇用や医療、福祉などに様々な影響が出ることが予想されています。介護問題と介護離職問題もその重要な課題です。</p> <p><u>課題①「市民への周知度向上」</u></p> <p>松戸市の介護支援体制は、多くの資源を準備し手厚い体制だと感じています。市民の「松戸の介護体制」に対する認知度も徐々に上がってきていますが、今後も更に高める必要があると思えます。</p> <p>そのため「いつでもどこでも、手軽に松戸市の介護サービス情報を“見る、知る、聞く”ことができる」動画が必要です。</p> <p><u>課題②「若者の力をもっと活用したい」</u></p> <p>地域における高齢者支援は高齢者(地域活動)が支えている印象がありますが、介護に関わる若いマンパワーも多く存在しています。それらのマンパワーを更に活かす取り組みが必要です。</p>
事業の目的	<p>この事業は次のことを目的として進めていきます。</p> <p>課題①の解決策として、松戸市の介護制度を動画化し、『誰もが、いつでもどこから(自宅、仕事場、市外、病院のベッドの上等)でも手軽に楽しみながら「松戸の介護」の情報を得られる』ようにする。</p> <p>その成果として、『具体的な介護制度の利用方法・サービス内容を理解し易くなり、支援体制の認知度向上へ繋げていく』ことです。</p> <p>課題②の解決策として、令和4年度からは千葉県立松戸向陽高等学校さんからの協力を得て、在学中の福祉教養科の学生さんらがボランティアとして参加中です。学生さんと活動することで「若者が参画した介護」の情報を発信し、老若男女問わず、松戸の介護に関心を寄せていただき、理解度を高め、高齢者福祉の課題を松戸市民全体で支えていく体制をより強固なものにしていくことです。</p>
事業内容	<p>市内に幅広く整備されている介護支援体制(行政、事業、市民活動等)をプロモーションビデオ(PV)化し、下記のYouTubeチャンネルにアップロードすることで、「松戸の介護の見える化」を図る。</p> <p><u>○YouTubeチャンネル名</u></p> <p>・介護保険課まつどDE介護ちゃんねる</p>

	<p>○<u>介護支援体制及び介護事業所（サービス内容等）のPV化（種別ごと）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松戸市内の事業所を訪問し、以下の動画を撮影 事業所の位置（周りの環境など）、外観、設備、サービス提供風景等</li> <li>・撮影スタッフ構成（1ロケあたり） 団体スタッフ1名～2名+ボランティア（学生さん等）2～3名</li> <li>・動画制作（編集等） 団体スタッフ1名+ボランティア1～2名（学生さん等）</li> <li>・動作制作に要する機材 スマートフォン、カメラ、動画編集ソフト、インターネット接続機器等</li> <li>・主に取材・撮影する種別 介護施設、通所事業所、訪問系事業所、福祉用具事業所、介護人材など</li> <li>・事業周知のためのチラシ作成（市内介護事業所などへ配布）</li> </ul>
協働の必要性	<p>① 福祉というテーマ性から市民に信頼していただき、広く伝えるためには公共的な関わりが重要になります。 当法人単独での活動では実現が困難（特に周知と撮影協力）であり、介護分野の各団体からの協力や連携が必ず必要となってきます。各種団体との連携を図るためにも行政との連携・協働を事業として取り組むことが重要になります。</p> <p>② このプロジェクトを成功させ松戸市の新しい資源とするためには、行政として力を入れている事業や市民の方に知ってもらいたいことなどを、松戸市を通じてクローズアップすることが必要です。そのためには内容の監修も含めて、市内の介護を担う担当課（介護保険課）の職員に入ってください必要があります。</p> <p>③ 担当課（介護保険課）は、行政の堅いイメージの動画ではなく、市民目線の親しみやすい動画を制作できるメリットがあり、活動団体が橋渡し役となり、様々な事業者さんや学生さんらと柔軟に協働した動画がつくれることに必要性を高く感じています。</p>
事業の目標	<p>① 「種別ごとの介護」を事業毎に5分程度のPVとして作成 年度制作動画の目標数 年間8～10本 令和5年度においては上記介護サービス事業所等の動画制作だけではなく、介護人材に関する紹介動画（外国人介護職員の紹介等）や地域による介護予防への取組みを紹介する動画も等も企画していきたい。</p> <p>② この事業を様々な方法で周知することにより、動画再生回数をそれぞれの動画ごとに500回再生以上を目標とします。</p>

## 事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 311,631	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 32,840	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 32,840	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 295,560	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 328,400	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
対象経費	使用料および賃借料	¥ 100,000	動画編集ソフト（ライセンス料） 10,000円/年 撮影機材 カメラ（リース代） 5,000円×12ヶ月 打ち合わせ及び編集用会場費 3,000円×10回
	消耗品費	¥ 61,400	事務用品代 郵便押印用シール 等 100円×20個 クリアホルダー 等 100円×20個 DM用ポリ封筒100枚A4 等 3000円×3個 アルコール消毒液 等 2000円×5個 フェイスシールド24枚入り 等 9900円×1個 マスク（不織布） 等 1000円×3個 SDカード代 等 2000円×3枚 撮影用照明器具（スタンドライト） 9500円×1個 スケッチボード 等 1000円×10個
	食糧費	¥ 40,000	ボランティアのお茶代 菓子代 (1回) 2,000円×20回
	印刷製本費	¥ 6,000	動画案内のチラシ 6000円 (6円×1000部)
	通信運搬費	¥ 86,000	動画編集用インターネット利用料 月6,000円×12ヶ月 郵便（定形外） 140円×100回
	委託料	¥ 35,000	チラシデザイン料 35000円×1回
	対象経費の合計 (E)		¥ 328,400
（その他経費）	その他経費		
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 328,400	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×953円
	会議・打ち合わせ (15回)	71,475 円	5 人 × 1 h × 15 回 × 953 円
	撮影企画準備	57,180 円	3 人 × 2 h × 10 回 × 953 円
	撮影	114,360 円	3 人 × 4 h × 10 回 × 953 円
	編集	57,180 円	1 人 × 6 h × 10 回 × 953 円
	ボランティア説明会	5,718 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 953 円
	説明会準備	5,718 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 953 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
合 計 (A)	311,631 円		